

## ● 総 説 ●

# ブタ MHC 領域のゲノム解析 —医学，畜産学分野におけるゲノム解析研究の応用—

安藤 麻子

東海大学医学部基礎医学系分子生命科学

**要約:** ブタの MHC (SLA) 抗原型は，合成ペプチドやワクチン接種による抗体産生能，並びにメラノーマ(悪性黒色腫)の発症との相関が報告されており，さらに SLA 領域周辺には，背脂肪厚，産子数などの各種の経済形質がマップされるという特徴がある。また，ブタは，解剖学的・生理学的にヒトとの類似性が高く，提供臓器不足の問題などから，ブタからヒトへの異種移植が注目されている。本稿では，最近ゲノム配列解読が完了した SLA 領域の遺伝子構成と多型性などの特徴について紹介し，臓器移植実験や抗病性を指標とした育種改良などへの SLA 研究の応用の可能性について述べる。

**キーワード:** ブタ MHC，比較ゲノム，ハプロタイプ，多型性，ミニブタ